お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🚫 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災·感電·落下の原因)	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災·感電の原因)
	器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋·家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。(火災·感電の原因)	禁止	節電その他の理由でランプを取りはずして間引き点灯しない。
	ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱·破損してけがの原因)		ランプは落としたり、(物を)ぶつけたり、無理な力を加えない。(ランプが破損してけがの原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守·点検を行う。

ランプ交換·器具の清掃 ― ⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)

適合ランプ　FLR40S/M

PS形ランプは使用できません。
一般形ランプをご使用ください。

ランプ交換や清掃の場合は、ラッチカバー保持バネをはずしてからカバーをとりはずしてください。

○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しないでください。
·みがき粉やたわし　·殺虫剤
·シンナーなど揮発性のもの　·熱湯

○ランプ·プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

⚠注意

○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
○ランプはソケットに確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下の原因)
○使用済みのランプは不用意に割らない。(ガラスが飛散してけがの原因)

⚠警告

器具·ランプを水洗いしない。(火災·感電の原因)

異常時の処置 ― ⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源スイッチを切る。(火災·感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2728 (施設照明営業課)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

E767Z585H50

MITSUBISHI

三菱蛍光灯器具

低温室用照明器具

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

(保管用)

形名　**FPR4031** (使用温度範囲　+30°C～ −30°C)
　　　FPR4032 (使用温度範囲　+30°C～ −30°C)

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

🚫 絶対に行わないでください。	❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン·可燃性スプレー·シンナー·ラッカー·可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電·火災の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電·火災の原因)	厳守	施工は電気設備の技術基準·内線規程に従い行う。

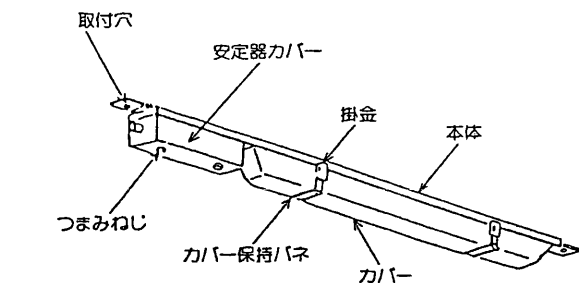
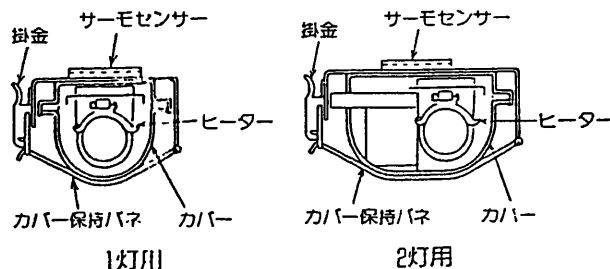
⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋·家財などの損害に結びつくもの

禁止	粉じん、油煙の多い場所、強い振動·衝撃のある場所で使わない。(落下·感電·火災の原因)	禁止	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電·火災の原因)
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。(劣化による落下の原因)		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)
	器具は乾燥不十分なクロス貼り·コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電·落下の原因)		調光用専用器具以外は調光させない。(器具が過熱して火災の原因)
	器具を密集して取付けない。(10cm以上離す)(器具の温度が高くなり火災の原因)	厳守	使用地域の周波数に合った器具を使う。(火災の原因)
	表示された電源電圧以外では使わない。(火災·感電の原因)		

お願い

■指定の使用温度範囲でご使用ください。なお、常時常温(5°C～35°C)となる場所でのご使用はお避けください。
■器具は防湿構造になっていますが、吊具等に水が入らないようボックスや電線管の防水処理を完全に施してください。
■4線配線でお使いください。
■器具に吹き出し口の風が直接あたらないよう設置してください。やむなく設置する場合は、器具より少し離してフードを設けてください。
■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。(すき間が発生することがあります。)

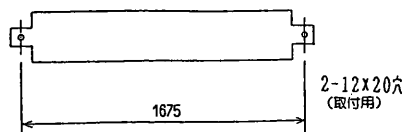
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う。(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

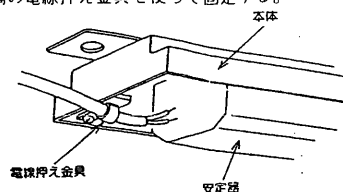
> ⚠警告
> 器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。
> (落下の原因)

2 器具本体を取付ける。

○下図に示す取付穴を使って本体を確実にボルトで固定する。

(単位mm)

> ⚠警告
> 取付けが不完全な場合落下の原因

3 電源線を接続する。

(1)つまみねじをはずし、安定器カバーを本体からはずす。
(2)電源線はコードブッシュをはめて引込み、下図のように付属の電線押え金具を使って固定する。

(3)電源線と器具口出線を確実に接続する。
電源接続は、安定器カバー内で行う。
電線接続部は防水処理をする。

> ⚠警告
> 接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(4)アース線を接続し、D種(第3種)接地工事を行う。

> ⚠警告
> アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
> (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

○適合電線:Ø1.6mm単線　Ø2.0mm単線

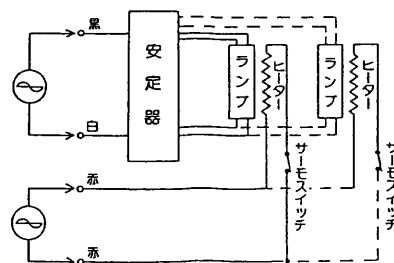
> ⚠警告
> 送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する。
> (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

(5)安定器カバーをつまみねじで本体に取付ける。

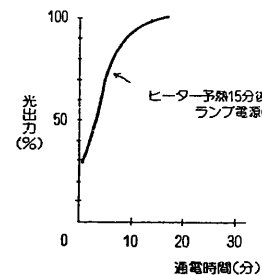
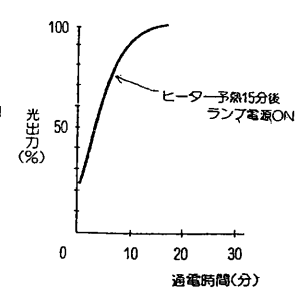
4 ランプを確実に取付ける。

(1)掛金、カバー保持バネをはずしてから、カバーを取りはずし、ランプを装着する。
(2)カバーを取付けてカバー保持バネを掛金にかけて確実に締める。

> ⚠注意
> 取付けが不完全な場合落下の原因

接続図

始動特性表

(−30℃)

各温度のランプ光束は納入仕様書を参照ください。

定格

FPR4031

定格		入力電流	電力
100V	ヒーター予熱時	0.4A	40W
	ヒーター回路遮断時	0.47A	44W
	ヒーター作動時	0.87A	84W
200V	ヒーター予熱時	0.2A	40W
	ヒーター回路遮断時	0.24A	43W
	ヒーター作動時	0.44A	83W

FPR4032

定格		入力電流	電力
100V	ヒーター予熱時	0.8A	80W
	ヒーター回路遮断時	0.88A	86W
	ヒーター作動時	1.68A	166W
200V	ヒーター予熱時	0.4A	80W
	ヒーター回路遮断時	0.44A	86W
	ヒーター作動時	0.84A	166W

ヒータについて

- ■本器具はヒータを15分以上予熱しておくことにより、ランプは瞬時に点灯します。ヒータは器具内温度を維持するためON−OFFを繰返します。
- ■ランプ点灯前にヒータで予熱するため、電源はヒータ回路、ランプ回路別々の回路としてください。
  (同回路だと低温時ランプ短寿命の原因)
- ■ヒータ回路はタイムスイッチや壁スイッチにより、使用する一定時間予熱しておくか、常時予熱しておくことが必要です。
  (低温時の予熱不足でランプ短寿命の原因)
- ■ヒータの電源電圧は、器具定格電圧と同じです。